

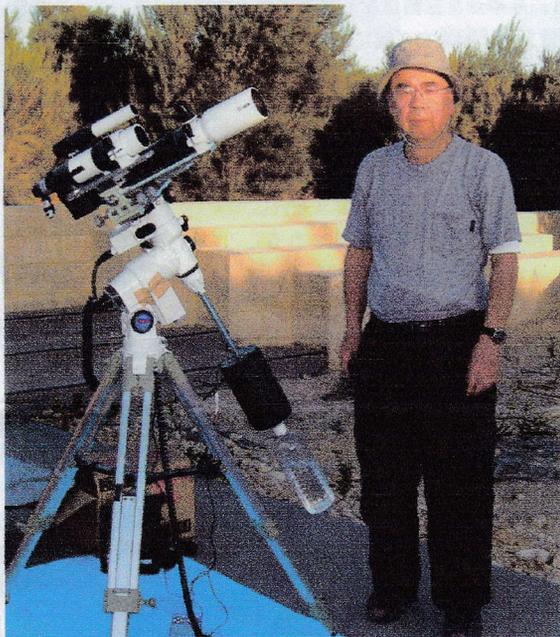
山崎 四明さん

(天文写真家)

天空の絶景をもとめて世界中を駆けめぐる
天体写真家の山崎四明さん
82歳となった今年、念願の写真集
『絶景・天空のイベント』を発行!
出版にかける思いをお聞きました。

取材・秋元宏之

天文ガイド 2014年8月号



オーストラリアでの撮影風景。

山崎 四明(やまざき・しめい)

1932年生まれ。東京理科大学理学部化学科卒業、日本ビクターでディスク関連業務担当。定年後、百武彗星に魅せられ、トルコ皆既日食で日食病に罹り、流星群、皆既月食と空のイベントに挑戦、オーロラを見に行くために太陽を毎日観測、現在、千葉天体写真協会に所属。

山崎四明さん(横浜市在住)は、本誌の天体写真SELECTコーナーにたびたび入選、最優秀をとった経歴を持つ、凄腕アマチュア天体写真家です。その山崎さんが、自ら撮影した天体写真をまとめようと一念発起。その夢が現実となり、この度、誠文堂新光社から写真集『絶景・天空のイベント』が発行になりました。

山崎さんは82歳とご高齢ながら、現在でもパワフルに天体写真に取り組んでいます。山崎さんの元気が同世代に生きる勇気を与えるということで、講演会の話も増えているといいます。そんな山崎さんに、今回の出版についての思いなどをうかがいました。

天体写真のきっかけは百武彗星

定年まで仕事に明けくれた山崎さん。1996年に地球に近づき大彗星となった百武彗星が、本格的に天体写真に取り組むきっかけとなりました。当時、フィルムにしっかりと写っていた百武彗星に心を奪われ、機材をそろえはじめ、そしてハール・ボップ彗星を迎え撃つことに。その後、一期一会の天文現象をテーマに世界中を旅するようになります。

同時に、天体写真の猛者が集う「千葉天体写真協会」の門をたたきます。同会で、天体写真に取り組む熱心な人々と出会い、技術的な面はもちろん、奥深さを学び、さらにのめり込んでいきました。

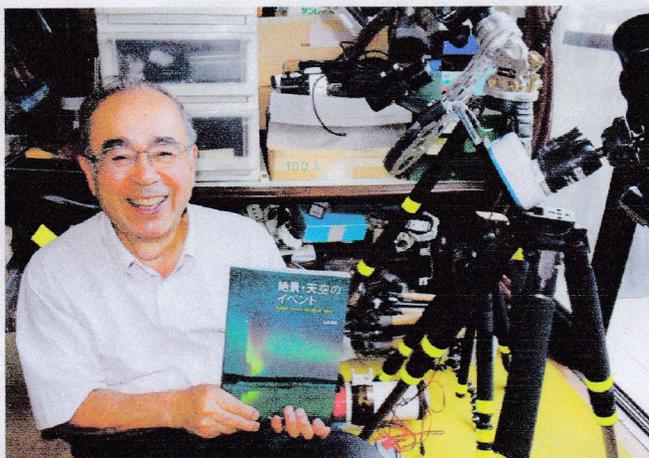
「山崎さんの写真には癒される…」

知人に言われたこの言葉が、写真集を出したいと思ったきっかけの1つだったそうです。自分の写真が人に癒しを与えるような力を持っている、ぜひ多くの人に役立ててもらいたいと、本格的に出版の検討を始めました。ご家族の応援もあり、自らが撮影してきた天体写真の整理を始めるとともに、誠文堂新光社メディアサポート部に出版の相談をしました。山崎さんは、写真集を出す意義として次のようにも話してくれました。

「私の知人も、写真を撮る人だったのですが、結局亡くなった後に写真が出てこなかった…。撮影した写真をまとめることの大切さ、次世代の人々に作品を残す喜びなども、今回の出版を通じて感じています」

写真集のテーマは『天空のイベント』

山崎さんは、写真集を作るとき、どのようなテーマにすべきかを考えました。星雲・星団も数多く撮影しています。しかし、インターネットでも大望遠鏡による星雲・星団画像が簡単に見られる時代、オリジナリ



機材に囲まれ、写真集を手にして喜ぶ山崎四明さん。定年を迎える方が増える時代、定年後の生き方、過ごし方の参考になれば…とも話してくれました。

ティを出したいと思い、『天空のイベント』としました。イベントとは、さまざま天文現象のこと。山崎さんは、オーロラ、皆既日食などを撮影するために、世界各地を旅しています。美しい天文現象に出会う喜びはもちろんですが、世界各地の習慣の違いに触れることで刺激を受け、次の旅のモチベーションにもつなげています。掲載されているオーロラ、日食・月食、彗星、流星群等をご覧いただき、回想ページのドキュメントを読んでいただくことで、その思いに触れることができます。

写真集を手にして…

「年齢のことも考えると、決断したらすぐに作りたいと思っていました」と、できたばかりの写真集を手話す山崎さん。「とても嬉しいものですね」とご満悦でした。ご家族や天体写真仲間もたいへん喜んでくれたそうで、これからも『天空のイベント』を追いかけて、多くの人に見てもらい、喜んでもらいたい、癒しを感じてもらいたい、と話してくれました。

最近では、天文現象のみならず、ロケットの打上げの迫力にも魅せられた山崎さんは、H-IIAロケットによる「だいち」2号の打上げの撮影にも成功しています。82歳にして作品の幅を広げるバイタリティ、今後も活躍を期待します。

山崎さんの作品が見られる星の写真展開催

柏市中央公民館にて、山崎四明さんを含めた、多くのアマチュア天体写真家の方々の作品が見られます。写真展でも写真集を展示しています。原画も数点展示予定。

- 期 間：2014年7月20日(日)～7月27日(日)(21日は休館日)
- 主催・場所：柏市中央公民館 千葉県柏市柏5-8-12
- 問合せ：電話04-7164-1811
- 後 援：千葉天体写真協会 / (株)トミーテック / 柏プラネタリウム研究会 / 東葛星見隊



南オーストラリア、セジュナで撮影した皆既日食。



フィンランド、サーリスルカで撮影したオーロラ。



最近ではロケット打上げの撮影にも取り組む。写真は、2014年5月のH-IIAロケットの打上げ。(写真展でも展示予定)

絶景・天空のイベント

山崎四明 著 誠文堂新光社 刊

B5判160ページ
(カラー128ページ、モノクロ32ページ)
定価：本体2,200円＋税
内容：オーロラ／彗星／皆既日食／全環日食／皆既月食／流星／月・太陽・惑星／世界の絶景／写真データ解説／ほか

